

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：文化スポーツ観光部文化振興課

1 施設概要

施設名称	横須賀市文化会館・横須賀市はまゆう会館
指定管理者名	よこすか文化パートナーズ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では、文化会館は昨年度と同程度の利用があり、順調といえる。利用が減ってしまった諸室についても原因分析ができており評価できる。分析結果を運営に活かしていってもらいたい。 また、はまゆう会館では、コロナで控えられていた商業利用の再開、若年層の利用増など好調で、リピート利用も増えた。日ごろの運営の結果として評価できる。 施設面では、それぞれ必要な修繕について、費用面でも工夫をしながら実施しており、評価できる。
5月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では、文化会館での共催イベントで、可能な限り主催者に協力して成功に導いており、リピート利用団体獲得にもつながった。負担も大きかったと思うが評価できる結果である。 また、はまゆう会館では、コロナで控えられていた団体利用の再開が加速し、新たに導入された卓球台も新規利用団体が増えるなど好調である。その中で不調の諸室についても対策が練られており、評価できる。効果が出ることを期待したい。 施設面では、利用者目線で優先順位をつけ、速やかに動いて修繕を実施できている点が評価できる。
6月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では、両館ともに利用率、利用者数が前年度に比べ大幅に改善し、好調を維持できている。リピート利用団体も増え、日頃の運営の結果といえる。 施設面では、利用者への影響が大きい部分を速やかに修繕し対応ができて

	いる。また、自主修繕をうまく組み込み、費用対効果を考えた修繕が実施できている点も評価できる。
7 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 文化会館について、運営面では、利用者数が昨年に比べ2割近く増え、会議室の利用率も改善するなど好調である。日頃の運営の成果として評価できる。 また、はまゆう会館では、自主事業のオープンデーに、前年の1.6倍にあたる来館者があり、満足度も高く、成功した事例といえる。様々な手段による広報が功を奏したものであり、評価できる。施設面では、予防保全と機能維持を見据え、的確な優先順位をつけて修繕を実施できている。可能な限り自主修繕を行い、機能は確保しながら費用を抑えて実施しており、評価できる。
8 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 文化会館について、運営面では、中ホールと展示室は、通常利用のほか控室としての利用もあり、利用率も大きく改善した。日頃の案内等運営の成果として評価できる。 また、はまゆう会館では、リピーター団体が会員の高齢化で活動を終了するなど課題もあるが、文化会館の抽選でもれた団体にはまゆう会館の利用を促すなど、積極的な姿勢は評価できる。実を結ぶことを期待したい。施設面では、可能な限り自主修繕を行い、機能は確保しながら費用を抑えて実施している。また、突発的なトラブルにも正確に対応し、速やかに対応できている点が評価できる。
9 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面について、文化会館では大きなイベントが続いたこともあり、大ホール以外の諸室の利用も増え、全体の利用率がコロナ禍前を超える結果となった。日頃の運営の成果といえる。はまゆう会館では利用率の改善について原因をデータでも分析できている点が評価できる。明らかになった課題についての対応策を実施し、次につなげてもらいたい。 施設面では、両館ともに計画的に着々と修繕を進めることができている。優先順位をつけ、必要な場合は再見積もりを取るなど、費用対効果を考えて実施している点が評価できる。
10 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面について、文化会館では大ホールの利用が100%となり、館全体の利用者も3万人を超えるなど好調である。これはコロナ禍以降初のことであり、日頃の運営の成果といえる。はまゆう会館でも、新規利用が2件あり、全体での利用件数や利用者数も伸びてきている。引き続きの利用につながることに

	を期待したい。 施設面では、いち早く設備の不具合に気づき、速やかに対策をとることができている。定期的に点検がきちんと行われている結果といえ、評価できる。また、日ごろの修繕に加え、必要に応じて電球のLED化を自主的に進めることができている。
11 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では、文化会館は、館全体の利用者も引き続き3万人に迫る勢いで、好調である。はまゆう会館でも利用件数、利用者数ともに前年を超えた。大規模イベントでの利用や、新規利用もあり、日頃の運営の成果といえ、評価できる。引き続きの利用につながることを期待したい。 施設面では、年度内の修繕予算を見越して、継続して費用対効果の高い修繕方法を選択して実施できしており、評価できる。また、いち早く設備の不具合に気づき、速やかに対策をとることができている。不具合の状態を把握するために独自に調査するなど、修繕に必要な内容について見極めることもできしており、評価できる。
12 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 文化会館では、コンサートや発表会の全日利用が昨年に比べ増え、運営面は好調であった。日々の運営の成果といえる。また、年始には、施設の位置する公園の年始の状況を把握し、安心安全のため早朝から待機し、万が一の事態に備えている点も評価できる。 はまゆう会館では、商業利用が減ったものの、直近割の新規利用が続いている。日ごろの運営の成果ととらえ、継続利用につなげてもらいたい。 施設面では、大掛かりで時間のかかる文化会館の修繕を休館日のみで実施するなど、利用者へ配慮した方法で実施できている。また、はまゆう会館では年度末に機械の急な故障が発生したものの、こちらも利用者への影響が最小限で済むよう、必要な手段を講じることができている。保守管理事業者とも速やかに連携がとれており、評価できる。
1 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では、文化会館が引き続き好調であり、今月も全体で前年の利用率を超えている。 はまゆう会館では、レギュラー団体の利用が続いており、日々の運営がリピート利用につながっているといえる。また、いち早く帰宅困難者一時滞在施設開設・運営マニュアルを作成し、研修予定に組み込むなど、主体的に災害時対応の動きが取れており、評価できる。 施設面では、緊急であっても費用面を考慮しつつ、安全面が確保できる修繕が実施できしており、評価できる。

2 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面では文化会館が好調で、駐車場も含め大ホール以外の諸室の利用も増えている。また、開館 60 周年記念事業の計画では地域と積極的な連携を図ることができており、日々の運営の成果といえる。 はまゆう会館では、レギュラー団体の利用が続いている。直近割の利用も増えており、利用者にとって良いサービスが提供できている。 施設面では、利用者への影響が最小限になるように、スピード感を持って修繕ができており、評価できる。効率的に自主修繕を実施できている点も評価できる。
3 月	施設の管理運営は、仕様書に基づき良好に行われている。 運営面においては、前年度同月に比べるとやや落ちているものの、年間では新規利用が増えており、これまでの施策により認知度が上がった結果といえ、評価できる。また、様々な要因も分析できている。今後は分析結果を活かし、自ら情報発信するなどさらなる工夫を期待したい。 開館 60 周年記念事業については、地道な連携と交渉を進めることができている。特別企画が本格的に動き出すのも間もなくなので、つながりをうまく広報等にも活用してもらいたい。 はまゆう会館では、ホールの利用が低迷したが、年間でみると回復傾向にある。次年度の取り組みも練られているので、うまく効果が出せるよう、実施してもらいたい。 施設面では、必要な部分を予算の範囲内で修繕を実施できている。また、文化会館では楽屋の修理に速やかに着手するなど、機能面だけではない利用者目線での動きが取れている点が評価できる。